

多彩な知の交差が 混迷する時代の峠を越え 未来への針路を描く——

湘南国際村学術研究センター関連出版のご案内



湘南国際村学術研究センター・インタビュー集

〔定価 500 円 / 70 ページ / A4 判〕

知をめぐる対話

私たちの世界

樺山紘一「国際政治も人と人のつながりで——」

藤原帰一「国際政治学と映画と私」

田中 均「東アジア共同体構想の再考」

豊かに生きる

竹内恒夫「今度の冬は薪も多めに準備しておかないと——」

池内 了「ゆっくりと変わる私たち」

江藤裕之『『名著』と『器』～知的で豊かな人生とは』

女性と自立

坂東真理子「ギア・チェンジで乗り切れ! ——育児と仕事の両立——」

山崎美貴子「無理なく、違和もなく」

アートのカ

建畠 哲「ある美術館をめぐる物語」

北川フラム「市民生活とつながるアートを」

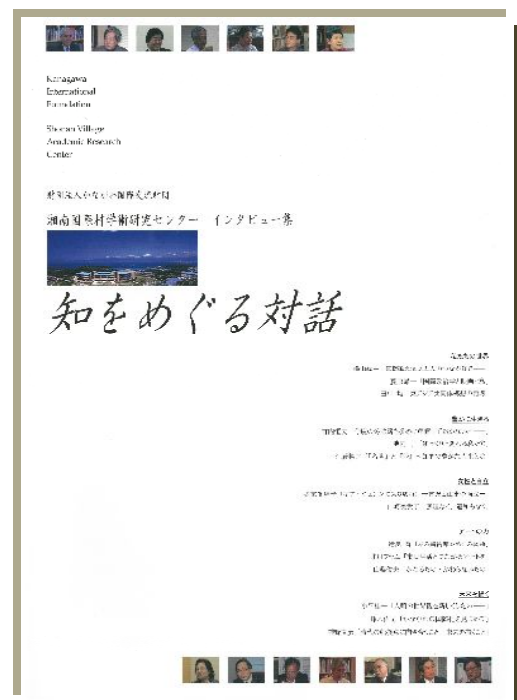
山梨俊夫「かわるもの・かわらないもの」

未来を描く

小平桂一「人類の世界観を新しくしたい——」

鈴木佑司「かながわの国際化を見つめて」

神野直彦「時代の転換点に向き合うこと、未来を描くこと」

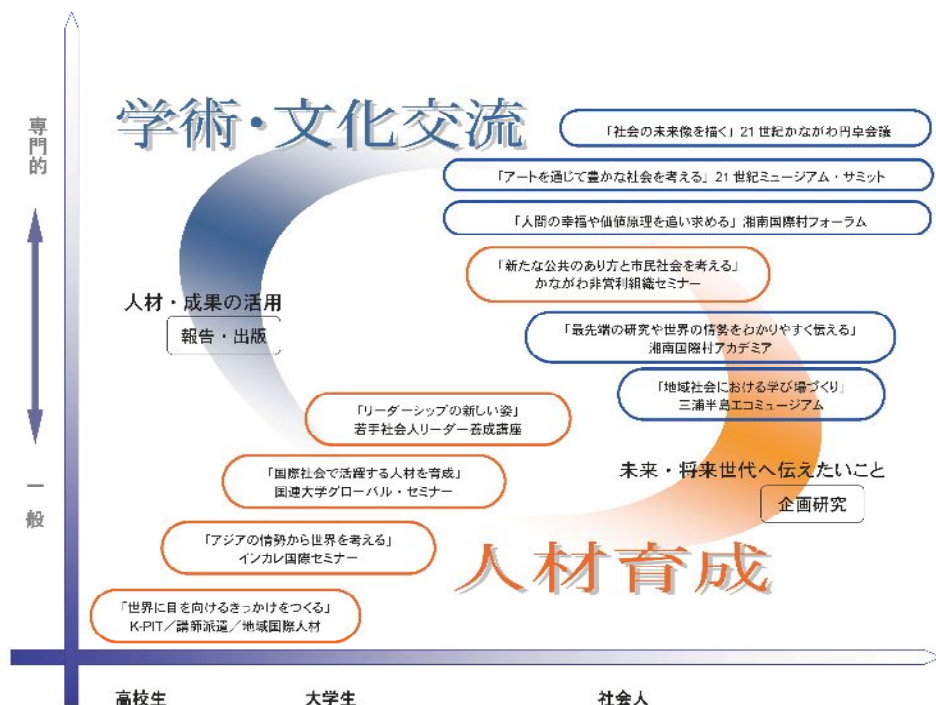


湘南国際村学術研究センターは、国際会議場を備えた宿泊型の研修施設である湘南国際村センター内に拠点を構えて、学術・文化交流や人材育成のプログラムを実施しています。それぞれのプログラムは、高校生から社会人までの各年齢層を対象に、テーマは、一般的なものから、より専門的・特定のなものまで取り上げています。

学術・文化交流プログラム（青の枠で囲ったもの）では、社会の現状を踏まえて未来・将来世代へ伝え、受け継いでいくべきものをテーマとして取り上げ、その成果や人材を人材育成プログラム（オレンジの枠で囲ったもの）に活用します。このように学術・文化交流と人材育成という互いのプログラムを相互に関連させていくことで、より効果的・発展的な展開を図っています。

現在を見つめ、未来を描く

—学術・文化交流の促進と国際性豊かな人材の育成—



社会の未来像を描く

「21世紀かながわ円卓会議」



『地域再生の新戦略』諸富 徹 (中央論新社、2010年3月発行)

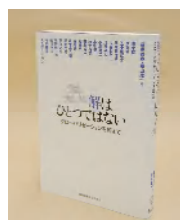
地域社会の荒廃が進んでいる。拡大する地域格差、グローバル化によりさらに進む産業空洞化、拡大する自治体の財政赤字……、その一方で、まがりなりにも地方分権が進み、これまで以上に各地域の自立が迫られている。低成長時代の新たな発展戦略をどのように描き、限られた資源を何に投資すべきなのか。各地の事例を紹介しながら、地域再生の方策を具体的に描くためのヒントを示す。「21世紀かながわ円卓会議」第2期(2005～2007年)の成果をもとに、「グローバリゼーションと地域再生」の関係を考える。

[2,310円/304ページ/四六判・ソフトカバー ※書店にてお買い求めください。]

『都市と地域の未来を拓く～まちづくり・ものづくり・ひとづくり～』(2010年2月発行)

2009年3月に開催された円卓会議における多彩な講師による講演概要。講師陣は神野直彦(東京大学大学院教授)、岡部明子(千葉大学大学院教授)、村山裕三(同志社大学大学院教授)、北川フラム(アートディレクター)、野呂昭彦(三重県知事)、榛村純一(前掛川市長)、露木順一(開成町長)。※役職は同時のものです。

[300円/48ページ/A4判]



『解はひとつではない』福原義春・樺山紘一編 (慶應義塾大学出版会、2004年7月発行)

「グローバリゼーション」をテーマに2000年度から2002年度までの3年間にわたって開催した円卓会議の記録。アジアの中の日本、イスラム世界と他の文明地域との共存、国境を越える経済活動の進展などについて、政治学、社会学、哲学、文化人類学などの研究者と文化人が一同に会し、「解」を求めするために重ねた白熱の討論。

[2,940円/368ページ/A5判・ソフトカバー ※書店にてお買い求めください。]

アートを通じて豊かな社会を考える 「ミュージアム・サミット」



『ミュージアム新時代』建畠 哲 編（慶應義塾大学出版会、2009年3月発行）

好評の『ミュージアム・パワー』第2弾。2008年3・4月に開催された第3回21世紀ミュージアム・サミットの全記録。美術館建設ラッシュの続く中国。拡張路線を探るルーヴル美術館。美術館に押し寄せる変化の波に対し、世界の美術館長たちはどのようなビジョンをもって取り組んでいるのか、白熱した議論を収録。ジェルマン・ヴィアット（ケ・ブランリー美術館前館長）、范迪安（中国美術館長）、サイモン・グルーム（スコットランド・ナショナル・ギャラリー近現代美術館長）、ヴィシャカ・デサイ（アジア協会理事長）、青木保（文化庁長官）、アンリ・ロワレット（ルーヴル美術館長）、青柳正規（国立西洋美術館長）、徳川恒孝（徳川記念財団理事長）、高階秀爾（大原美術館長）ら内外美術館関係者による討議。日本図書館協会選定図書。 [2,625円/338ページ/四六判・上製 ※書店にてお買い求めください。]

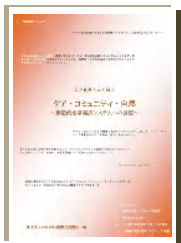
『ミュージアム・パワー』高階秀爾・蓑豊編（慶應義塾大学出版会、2006年11月発行）

第1回（2004年3月）、第2回（2006年2月）の21世紀ミュージアム・サミットで行われた“21世紀の美術館の展望と新たな挑戦”をめぐる討論の記録。講師：マーク・ジョーンズ（ヴィクトリア・アンド・アルバート美術館長）、フランソワーズ・カシャン（前フランス美術館総局長）、ジェームズ・クノー（コートールド美術1研究所教授・館長、シカゴ美術館長）、キャサリン・リー・リード（クリーヴランド美術館長）、アルフレッド・バックマン（ポンピドゥー・センター国立近代美術館長）、ニール・ベネズラ（サンフランシスコ近代美術館長）、ロナルド・デ・レーウ（アムステルダム国立博物館長）、ラース・ニッティヴ（ストックホルム国立近代美術館）、蓑 豊（金沢21世紀美術館）、福武總一郎（ベネッセコーポレーション代表取締役会長）

[2,625円/296ページ/四六判・上製 ※書店にてお買い求めください。]



人間の幸福や価値原理を追い求める 「湘南国際村フォーラム」



『広井良典さんが語る ケア・コミュニティ・自然～創造的定常経済システムへの展望～』

（2010年5月発行）

2009年7月に開催した湘南国際村フォーラムにおける、広井良典氏（千葉大学教授）による講演記録をもとに加筆・修正したもの。現代社会におけるさまざまな課題がつながってくる結節点として「ケア」に着目し、学際的な観点で「医療技術とケア」「ケアとコミュニティ」「持続可能な福祉社会」「創造的定常経済システム」を語る。『池内さんが語る～』につづく湘南国際村ブックレット・シリーズ第2弾。 [300円/A5判/46ページ]



『池内了さんが語る 地球市民として科学を見つめなおす』（2009年12月発行）

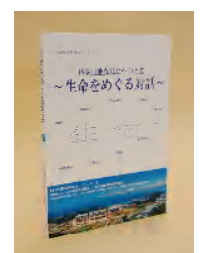
2008年12月に開催した湘南国際村フォーラムにおける、池内了氏（総合研究大学院大学葉山高等研究センター長）による講演記録をもとに加筆・修正したもの。社会における科学や科学者のあるべき姿を追求している池内氏が、「科学の持つ二面性」「転回期の科学」そして断片化された科学の知見を結び合わせる「新しい博物学」の視点について語る。湘南国際村ブックレット・シリーズ第1弾。 [300円/A5判/42ページ]

『持続可能な社会へ向けて～生命をめぐる対話～』（2008年6月発行）

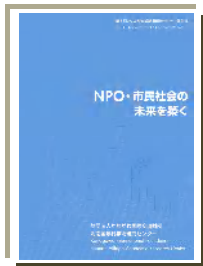
2008年1月に開催した湘南国際村フォーラム「持続可能な社会へ向けて～生命をめぐる対話～」の記録集です。多様な分野の有識者による3つのレクチャーと対話の記録。

- ・「ヒトはどこへ向かうのか」長谷川眞理子（総合研究大学院大学教授〔進化生物学〕）
- ・「全体性を志向する『健康』という概念」江藤裕之（長野県看護大学准教授〔言語学〕）
- ・「新たな福祉国家像の視座」炭谷 茂（前環境事務次官）

[1,000円/A5判/180ページ]



新たな公共のあり方と市民社会を考える 「かながわ非営利組織セミナー」



『NPO・市民社会の未来を築く』（2010年2月発行）

2009年2月に開催したかながわ非営利組織セミナーの記録集。「公共」の担い手としてのNPOのあり方を問い、市民社会の未来像を模索する。講師は、田中弥生（独立行政法人大学評価・学位授与機構准教授）、山脇直司（東京大学大学院総合文化研究科教授）、塚本一郎（明治大学経営学部教授、NPO法人まちづくり情報センターかながわ理事長）、川崎あや（横浜市市民活動支援センター運営委員会事務局長）。

[500円/78ページ/A4判]

【購入のお申込方法】

購入申込書（以下）もしくはメールに必要事項を記載して財団までお申込ください。こちらから「ご案内」と「お振込銀行口座」をお送りいたします。※ご登録いただいた個人情報は当財団のみが取り扱い、出版購入の問合せ以外の目的には使用いたしません。

【購入申込書】 購入を希望する出版物について、チェックをお願いします。		
ファックス 046-858-1210 メール shonan@k-i-a.or.jp		
出 版 物	定 価	チェック欄(冊数)
知をめぐる対話	¥ 500	<input type="checkbox"/> (冊)
都市と地域の未来を拓く～まちづくり・ものづくり・ひとづくり～	¥ 300	<input type="checkbox"/> (冊)
広井良典さんが語る ケア・コミュニティ・自然 ～創造的定常経済システムへの展望～	¥ 300	<input type="checkbox"/> (冊)
池内了さんが語る 地球市民として科学を見つめなおす	¥ 300	<input type="checkbox"/> (冊)
持続可能な社会へ向けて～生命をめぐる対話～	¥ 1,000	<input type="checkbox"/> (冊)
NPO・市民社会の未来を築く	¥ 500	<input type="checkbox"/> (冊)
※6冊（各1冊）までであれば送料無料		
フリガナ 氏 名		
所 属	部 署	
住 所	〒	
電 話	ファックス	
メー ル		

【会員制度のご案内】 KIF サポーターになりませんか？ <http://www.k-i-a.or.jp/member/>

かながわ国際交流財団(KIF)は、県民の国際交流・協力活動の支援、国際性豊かな人材の育成、多文化共生の地域社会づくり、学術・文化交流の促進等を目的とした様々な事業を展開しています。当財団の趣旨に賛同し、活動を支援して下さる、「KIF サポーター(賛助会員)」を募集しています。かながわ国際交流財団の事業は「KIF サポーター」の方々の支援によって支えられています。皆さまの参加と協力をお願いします。会員にはつぎの3つの種類があります。それぞれ入会から1年間有効となっています。

(1)学生会員 1,500円以上 (2)一般会員 3,000円以上 (3)団体会員 10,000円以上

【財団メールマガジン KIF NEWSのご案内】 <http://www.k-i-a.or.jp/plaza/info/magazine/index.html>

「地球的規模の課題解決」「多文化共生の地域づくり」「国際交流・協力」をテーマに、地球市民かながわプラザ(あーすぶらざ)の施設・イベント情報をはじめ、神奈川県内のNGO/NPO情報を月2回お届けします。

【問合せ】(財)かながわ国際交流財団 湘南国際村学術研究センター
電話 046(855)1821